DX・設計開発サイクル短縮

デジタルサイエンスラボ®の紹介

用 途　DXによる設計開発加速、R&D共創による価値創出

開発の狙い　2024年12月竣工のデジタルサイエンスラボ®は、オンプレミス環境下に総演算性能1PFLOPS級の高性能計算機を導入するとともに、社内外の共創拠点としての役割も備えている。本施設をハブとして、DXと共創によるモビリティ分野における新しい価値の創出を推進する。

開 発 進 度　1. アイデア段階　2. 試作・実験段階　3. 開発完了段階　4. 製品化完了

製品の概要　構造・原理・特徴

設置目的・保有設備

研究・生産技術部門のデジタルサイエンスの専門家を集結させ、研究開発とのシナジーを追求し研究開発DXを加速



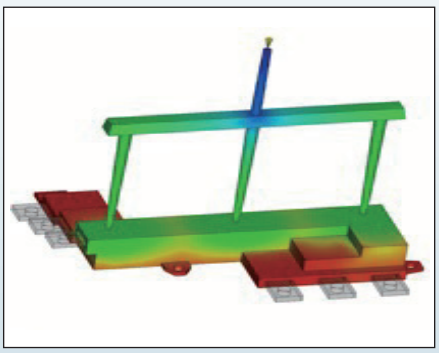
総演算性能PetaFLOPS級マルチアーキテクチャのハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)環境、当社本社共創空間, 新潟, 名古屋拠点と接続できるプロジェクトルーム



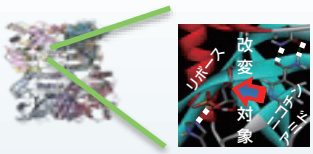
保有解析・分析技術

CAE

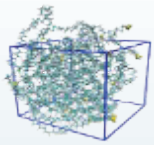
- 射出成形CERによるソリューション力強化
- 顧客製品の品質向上&開発期間短縮に貢献



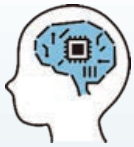
計算化学・MI



量子化学計算

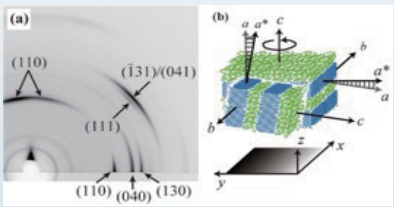


分子動力学法



マテリアルズ・インフォマティクス

先端分析技術



樹脂構造解析

AI・画像解析



- 樹脂・複合材料の疲労試験での亀裂検出・亀裂進展速度評価
- 異物検知

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

課題と対応策

モビリティ分野のDX・オープンイノベーション促進によるサプライチェーン全体を巻き込んだソリューション提案力の強化

2025.5.21

お問い合わせ先　Inquiry_mobi@mitsuichemicals.com